

【参加者の感想（井出講師）】

- ・フードロスに向けて具体的な対応等とても参考になった。
- ・食品ロス問題について分かりやすく国内外の事例を紹介していただいた。行政で大事な分野であり積極的に取り組むべきと改めて感じた。
- ・フードロスでの損失金額の大きさを改めて感じた。
- ・市民の意識を変えるための行政としての働きかけを学ばせていただいた。
- ・ゴミの減量化の重要性を再確認できた。
- ・「ナッジ」の手法で人々に行動してもらうというお話が大変興味深かった。
- ・食品ロスは量るだけで減らせる。具体的に見える化することが大事。特に生ごみを減らすことが重要であることを理解できた。
- ・食品ロス削減を意識したことがなかった。できることから取り組んでみたい。
- ・これからの自治体運営の視点として食品ロス削減は大切であり大きなヒントをいただいた。
- ・今まで考えていなかった視点での問題を勉強できて良かった。
- ・貴重なご示唆をたくさんいただいた。早速ごみを減らすための施策を取り入れたい。
- ・インセンティブ設計が大切だと思った。
- ・食品ロス。ごみの減量に対して良いヒントになった。重さではなく金額で表現できるものを増やしていきたい。また数々の事例で本村に活用できるものをしっかり取り入れていきたい。
- ・食品ロスについてデータや事例、金額を具体的に示していただきよく理解できた。
- ・食品ロスの経済的損失の大きさに驚いた。町の財政改革にも活用できると思った。
- ・ダイレクトに経済効果を生むことを認識した。全町的に取り組みたい。
- ・ご指導いただいたことを町でも実践できればと思った。
- ・数値的なものや事例が大いに参考となった。
- ・環境問題につながっている理屈が分かって良かった。
- ・気候変動に対処するために食品ロス削減が解決策の上位にあることに改めて気づかされた。周知方法に取り入れたい。
- ・食品ロス削減のアプローチ方法など他自治体の取り組みを知る機会となった。今後簡単に取り組めることから実施したい。
- ・本町でも議会で一般質問された食品ロス。改めて本気で取り組まなければならない課題であると感じた。
- ・食品ロスの経済的損失が4兆円であること。ごみ処理に2.5億円かかっていることに驚いた。食品ロスが気候変動と結びついていることからできそうなことから周知したい。
- ・食品ロスがこういったものか、ということへの理解が深まった。だが、市町村で実施するにはなかなか刺激的な内容が多く、やったほうがいいことなんだろうか悩ましいと思った。
- ・食品ロスはさまざまな方面へも影響があるということ大変勉強になった。いかに市民に分かりやすく伝えるか、行動を変えてもらうか、行政としてのやるべき方向性を確認できた。
- ・食品ロス削減に取り組んでいる自治体の事例をもう少し聞いてみたかった。
- ・本気で取り組むべき課題であると思った。
- ・住民への啓発が必要との認識が深まった。
- ・食品ロスは通常ごみ削減率に重点があるが、食品ロスにかかる費用を削減すれば他の事業にコストをまわせるといった経営視点での講義は分かりやすかった。
- ・毎年、一人当たり31000円程度捨てていると聞いてもったいないと感じた。